

II NET

インドネシア・西部バリ国立公園周辺村における、地域に根ざした環境教育と若者ファシリテーター育成を通じた『子どもたちが生きいきと活動するカンムリシロムク保護村』つくり

活動地域 インドネシア



課題

インドネシア・バリ西部において、カンムリシロムクの野生復帰をテコにエコツーリズムを発展させるためには、多くの村人による生息地復元や野生復帰支援活動が必要である。

目標

西部バリ国立公園周辺村において、子どもや若者が積極的に参加するカンムリシロムク野生復帰活動が進み、他地域からの視察や村落エコツーリズムの対象となる。



今後の展望

環境教育シラバスは地域科カリキュラムとして採用を目指す。子どもたちによるカンムリシロムクのモニタリングや村落エコツアーガイド活動を進め、住民グループによるカンムリシロムクの生息地保全を活発化していく。

ひろげる助成
2年目
実践

ちびっ子 ファシリテーター	14人
シラバス作成チームの 会合	10回
今年度計画の達成度	70%
目標達成度	50%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルス禍で学校の対面授業が長期間行われず、環境教育シラバス作成やちびっ子ファシリテーター育成活動に制限が生じた。

■工夫した点

オンラインでの話し合いを活用するとともに、ちびっ子ファシリテーターは自主的な学習活動をしている子どもたちから育成した。



Nayu Ceklik RT02 RW020
No.1 Nusukan Banjarsari
Surakarta, Jateng, Indonesia
E-mail : iinetworkbb@gmail.com